# FINGUARD－3000専用ソフト

# PLA－SF

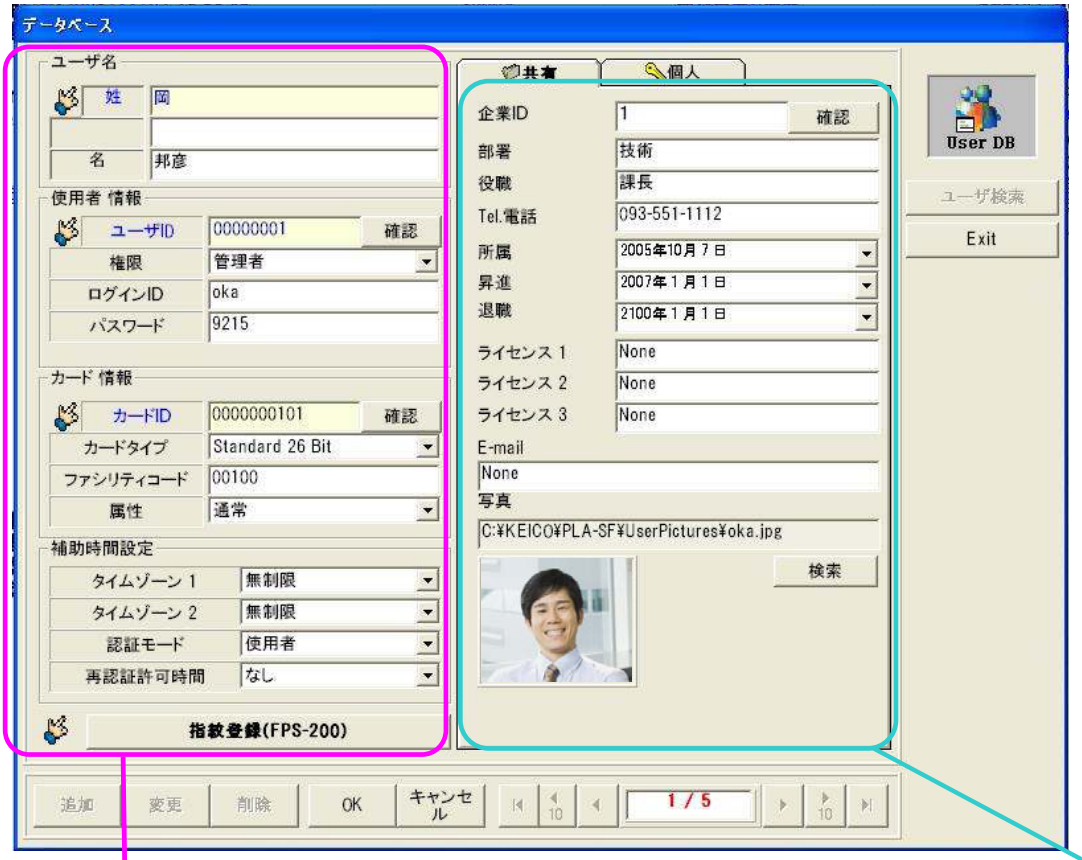
# 取扱説明書

目　次


PLA
- 使用者
  - データベース ——— 3 ページ
  - データベース読込 ——— 5 ページ
  - 使用者 検索 ——— 6 ページ
  - 転送 ——— 7 ページ
  - 登録ユーザーリスト ——— 8 ページ
- 認証履歴
  - 認証履歴 検索 ——— 9 ページ
  - 認証履歴(機器) ——— 10 ページ
  - 入退室状態 ——— 11 ページ
  - 勤怠管理 ——— 12 ページ
- 表示設定
  - 地図表示 ——— メーカーにお問い合わせ下さい
  - 接続状態表示 ——— メーカーにお問い合わせ下さい
  - 入退室表示 ——— メーカーにお問い合わせ下さい
- 機器選択
  - 基本設定 ——— メーカーにお問い合わせ下さい
  - 接続設定 ——— メーカーにお問い合わせ下さい
  - 機器設定 ——— メーカーにお問い合わせ下さい
- 機器名
  - 認証モード設定 ——— メーカーにお問い合わせ下さい
  - 休日 設定 ——— メーカーにお問い合わせ下さい
  - 時間制限設定 ——— 15 ページ
  - 特別機能 ——— メーカーにお問い合わせ下さい

# データベース画面

**個別にユーザーデータを入力する場合に使用します。**
**カードＩＤやタイムゾーンを変更した場合は、転送画面によりデータ転送を行なってください。**
**※このデータを変更しただけでは、認証装置に反映されませんので御注意下さい。**

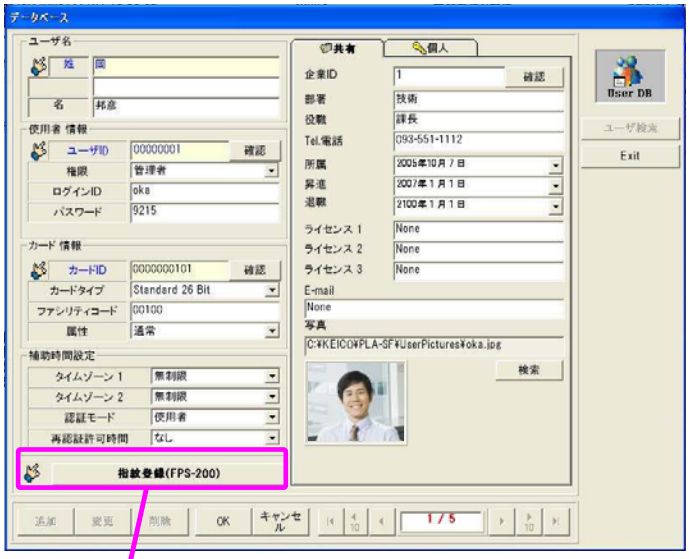



各個人情報を入力して下さい。特に部署・役職は入力しておくと検索などを使用した際に便利です。

| | |
|---|---|
| First | 姓を入力します。 |
| Middle | |
| Last | 名を入力します。 |
| 登録者 ID | ＩＤを入力します。他の登録者と同じ番号は登録できませんので注意して下さい。<br>新しく登録の際は、確認ボタンで重複がないか確認します。 |
| 登録者グループ | Ｍａｓｔｅｒ（管理者）かＵｓｅｒ（使用者）を選択します。<br>管理者を選択すると、設定変更を行なう権限が与えられます。 |
| ログイン ID | 管理者の方のみ入力します。それ以外は空白にして下さい。 |
| パスワード | 管理者の方のみ入力します。それ以外は空白にして下さい。 |
| カード ID | カードを登録する場合、カード番号を入力してください。 |
| カードタイプ | Binary を選択してください。 |
| ファシリティコード | 識別番号を入力します。　特に変更不要です。 |
| 属性 | カードの種別を選択します。 |
| タイムゾーン１ | 時間制限を設定する場合に設定を選択します。 |
| タイムゾーン２ | ２の設定を行なった場合、１もしくは２どちらかの設定時間が有効であれば入室することが出来ます。 |
| 接続モード | モードとは関係なく暗証番号を有効にする場合設定します。 |
| 再認証許可時間 | 認証後に再度認証許可するまでの時間を設定します。 |

# 指紋登録手順

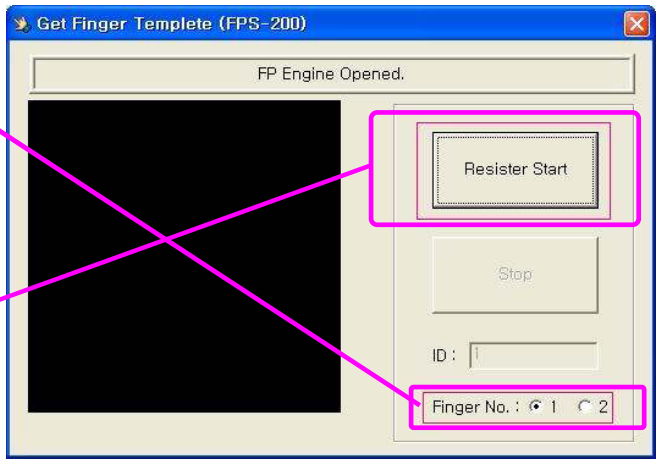
指紋読み取り装置を使用して指紋を登録します。



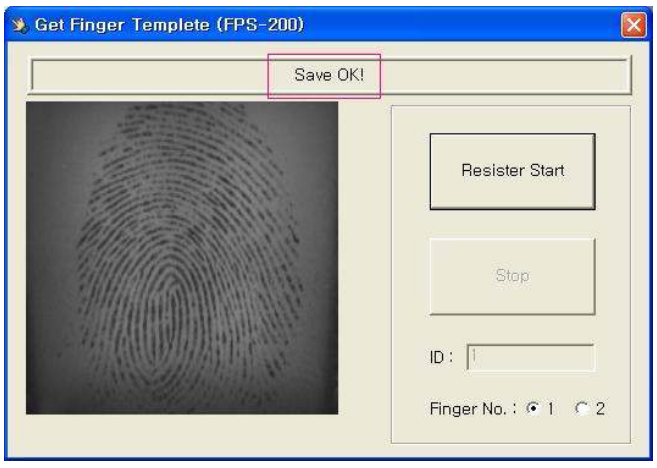

1、指紋登録(FPS-200)をクリックします。

2、指紋登録(FPS-200)を選択

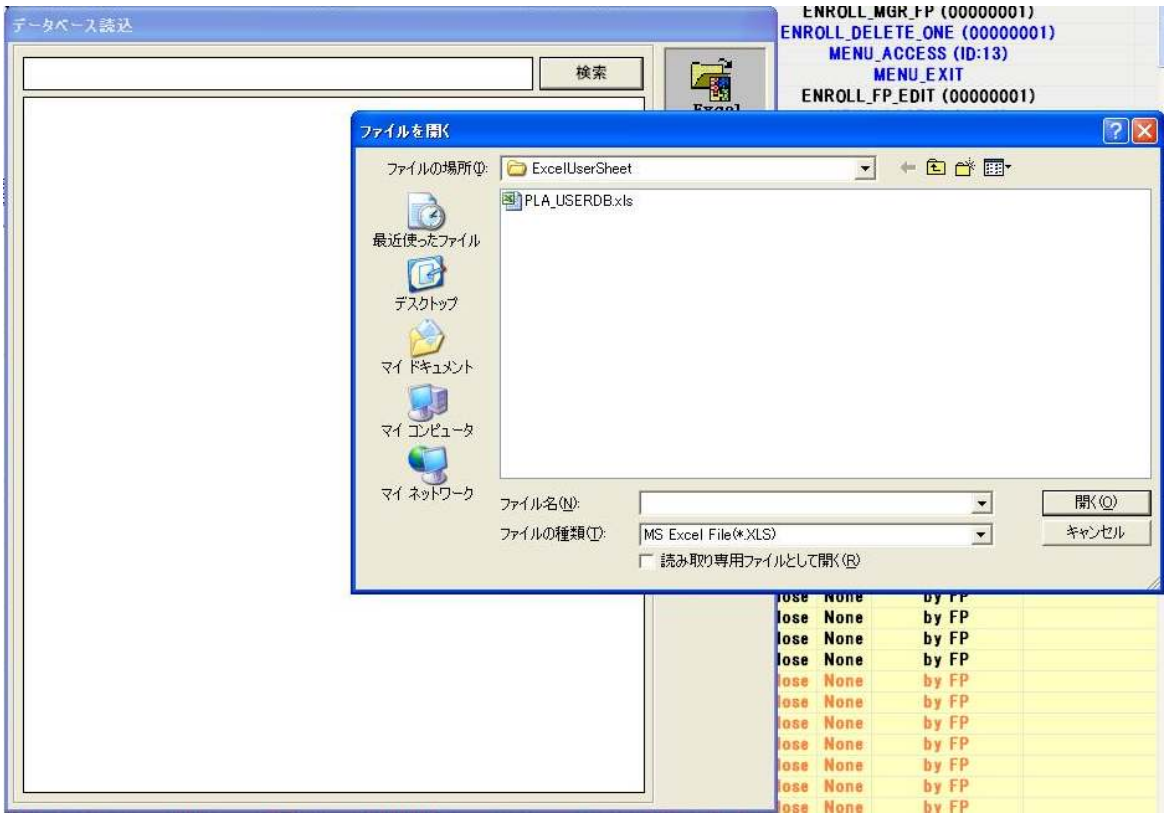
3、“Register Start”を選択




4、指示に従い指を認証部分に置いて、指紋登録します。
正常に終了すると“Save OK！”と表示されますので
登録画面を終了します。
※指紋は登録後、自動的に保存されます。



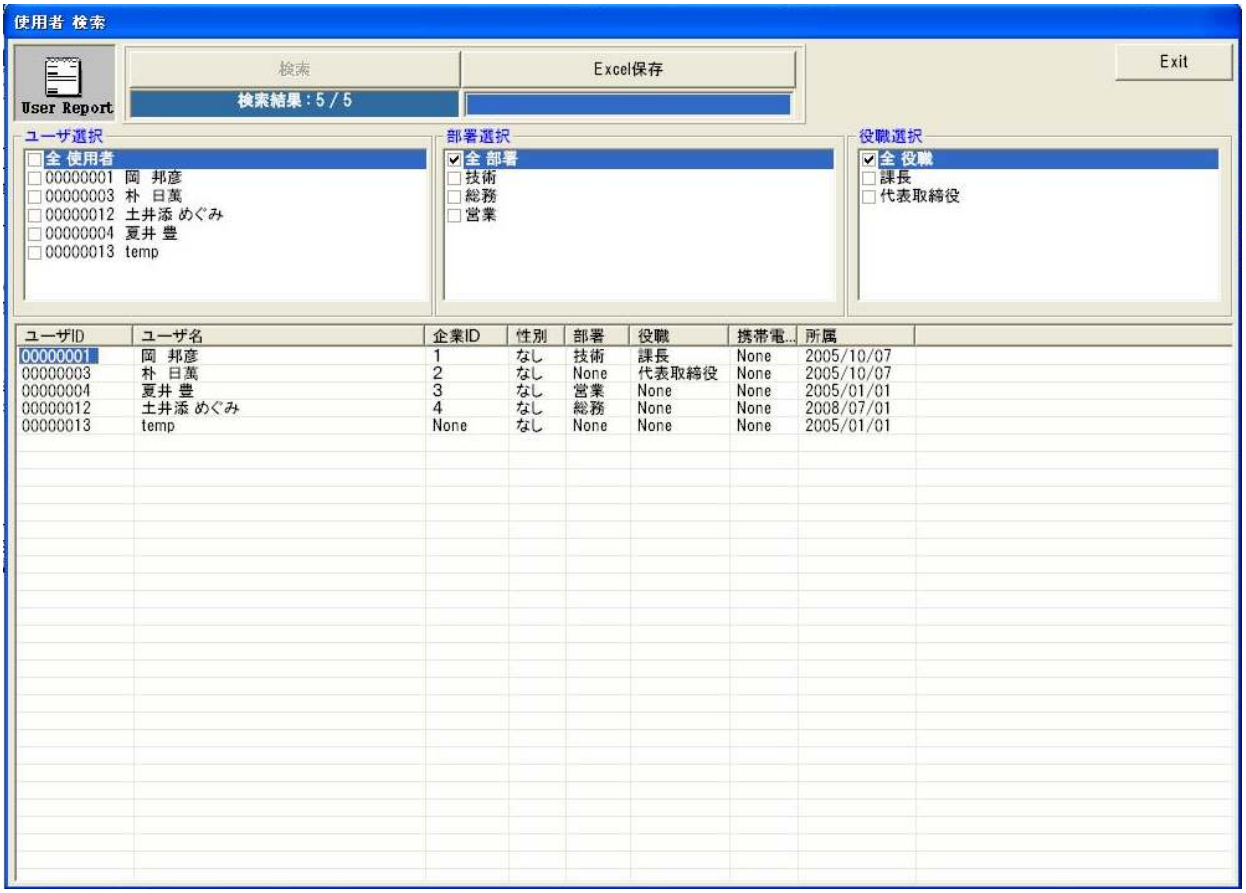
# エクセルシート画面




ユーザー登録をエクセルデータからインポートできます。
エクセルデータを選択後“開始”ボタンによりインポート開始します。

※インポートする場合は、既に入力されているデータベースに上書きされますので注意して下さい。

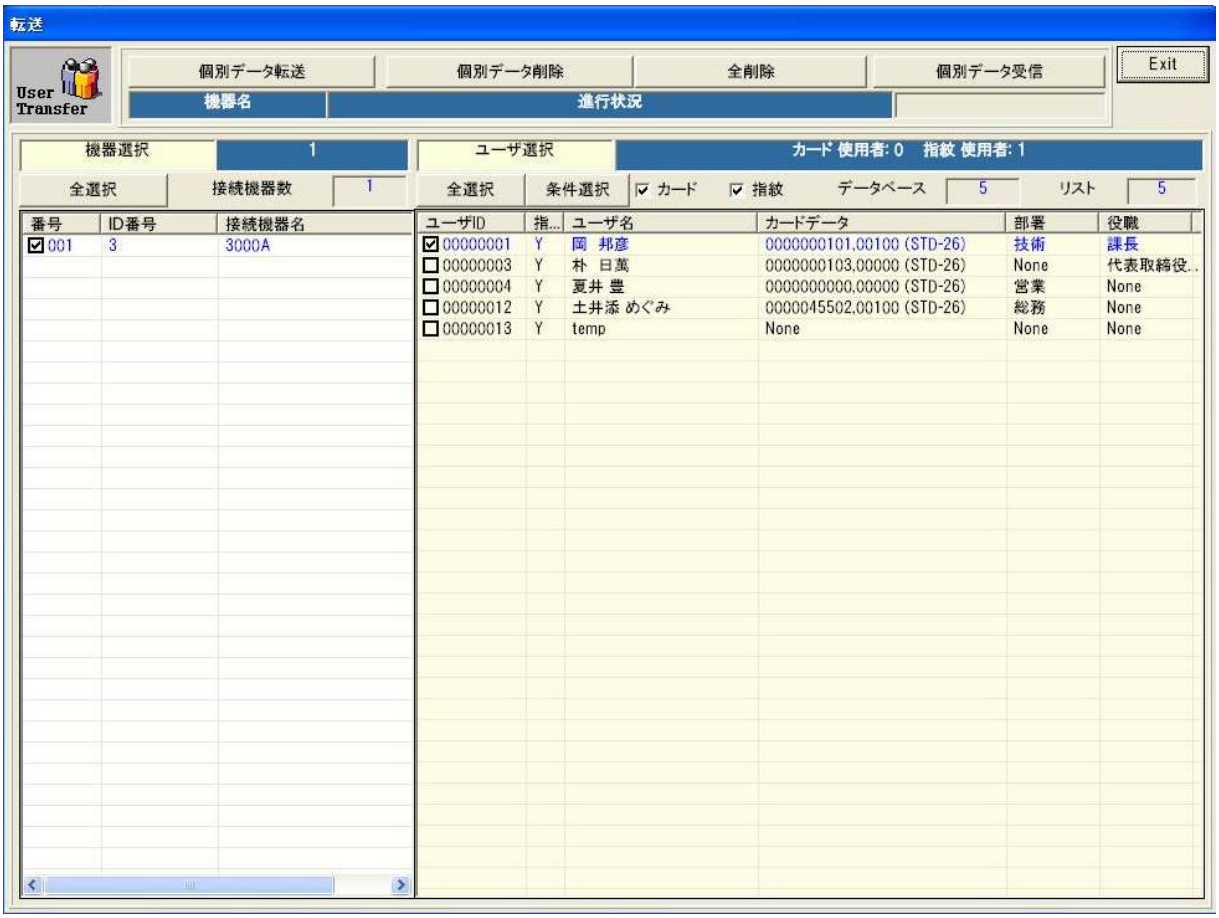
# 使用者　検索




登録してあるユーザデータを検索します。
検索後、エクセルデータへ出力が可能です。

※検索時には、ユーザ・部署・役職の条件絞込みを利用して下さい。

# 転送画面




ＰＣと指紋認証装置の間でデータ転送を行ないます。
新規登録したデータ・変更データ・指紋認証装置からのデータバックアップ時に使用します。

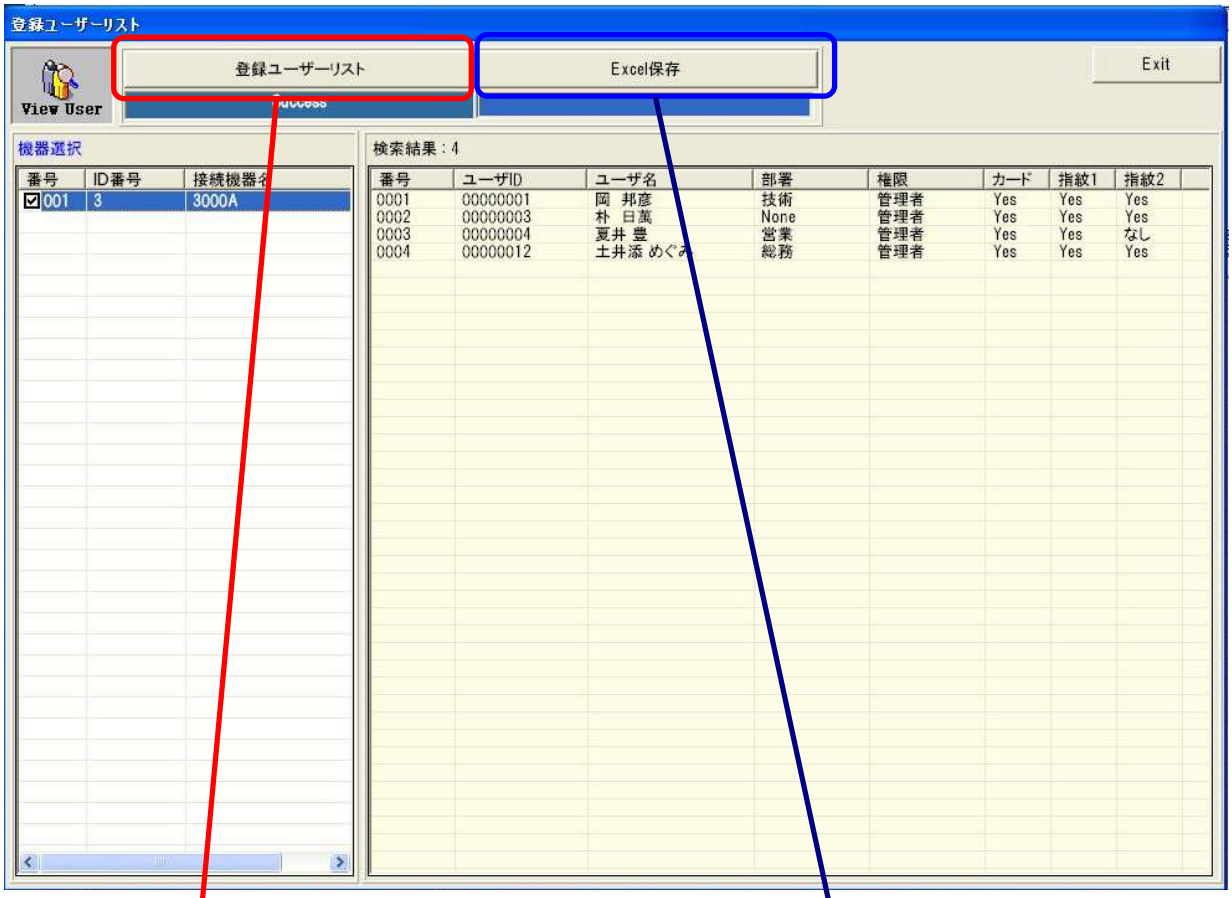
※全使用者リストを行なうと、データの一旦全消去を行い選択データのみ転送しますので注意して下さい。

## 使用方法

通信を行なう指紋認証装置を選択後、転送もしくは受信するユーザーを選択します。
下記コマンドで通信実行を行ないます。

| | |
|---|---|
| **個別データ転送** | **選択したデータを認証装置に追加転送します** |
| **個別データ削除** | **選択したデータを認証装置から削除します。** |
| **全削除** | **認証装置データを全て削除します。** |
| **個別データ受信** | **認証装置より選択ユーザーデータをＰＣに受信します。（データのバックアップ時や、認証装置本体で指紋・カード登録した際に使用します。）** |

# 登録ユーザリスト




使用方法

“登録ユーザーリスト”

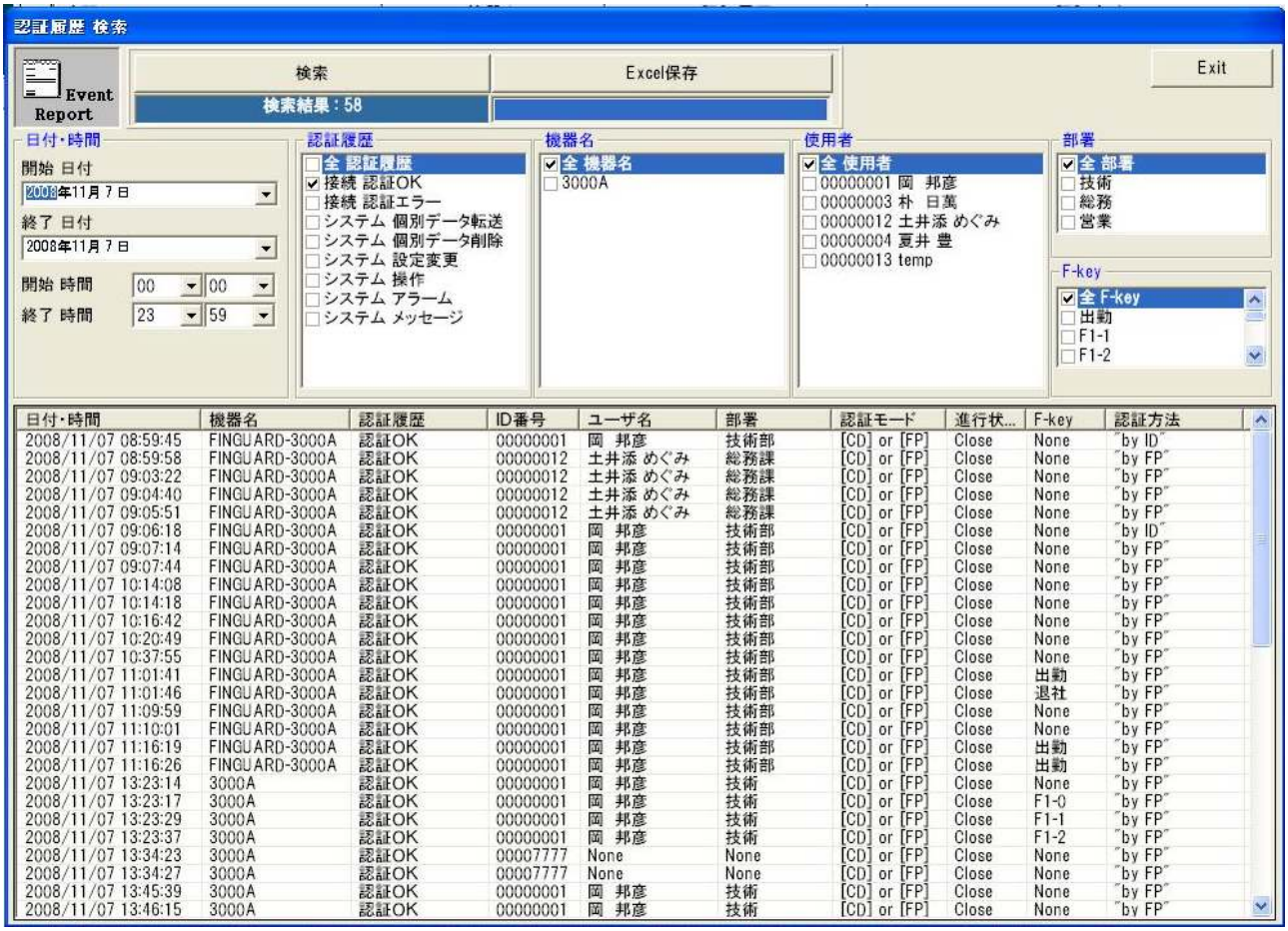
指紋認証装置に登録してある、データを確認できます。

認証装置を選択後“登録ユーザーリスト”ボタンを押します。

“Ｅｘｃｅｌ保存”

検索データをＥｘｃｅｌデータで保存します。

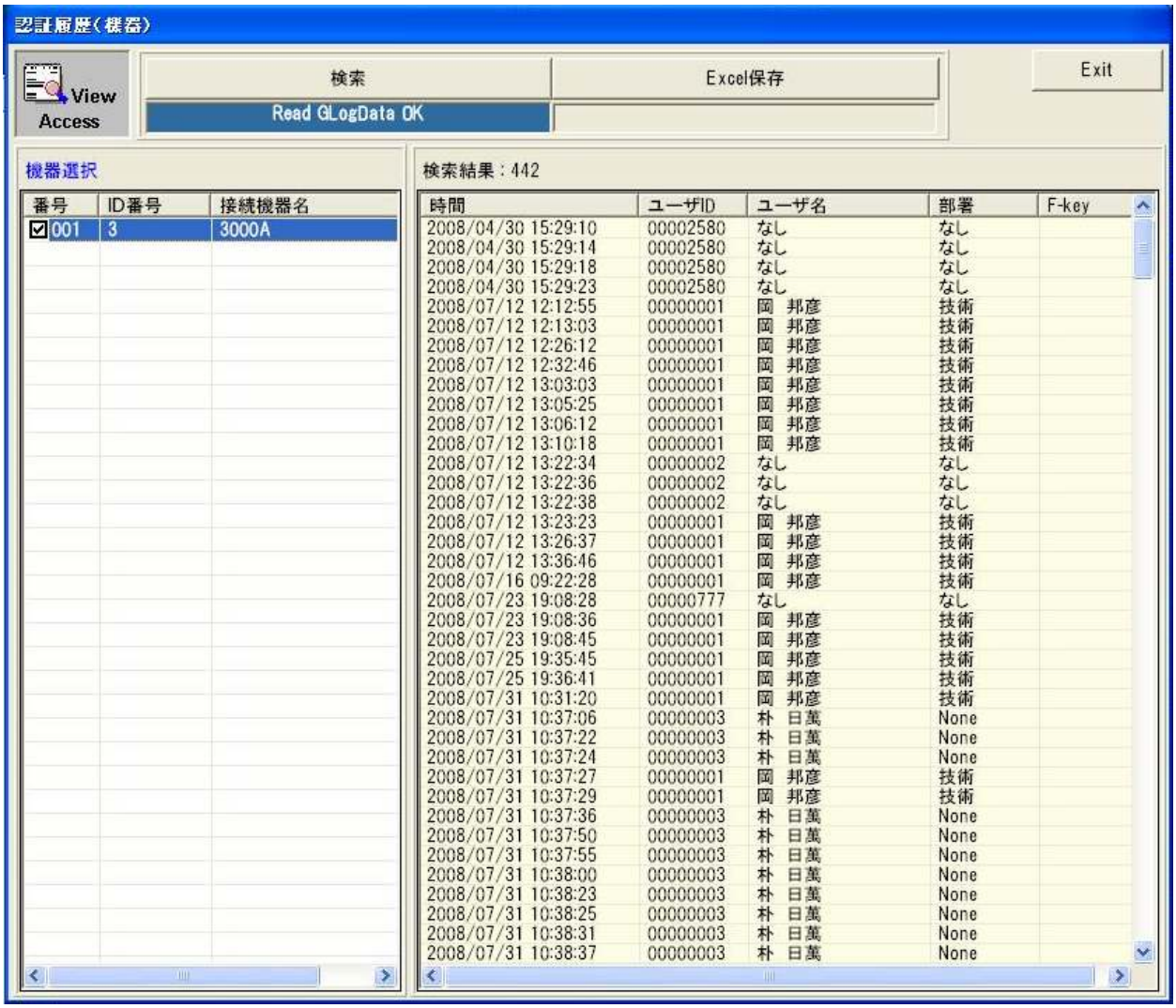
# 認証履歴　検索




| | |
|---|---|
| **日付・時間** | **認証結果を検索する日時を選択します。** |
| **認証履歴** | **認証履歴の種類を選択します。** |
| **機器名** | **認証装置を選択します。** |
| **使用者** | **個別ユーザーを選択します。** |
| **部署** | **部署を選択します。** |
| **Ｆ－Ｋｅｙ** | **認証時のファンクションキーを選択します。** |

上記選択項目を入力後“検索”ボタンを押すと、検索を開始します。
データ受信後は“Ｅｘｃｅｌ保存”ボタンを押してエクセルデータとして保存できます。

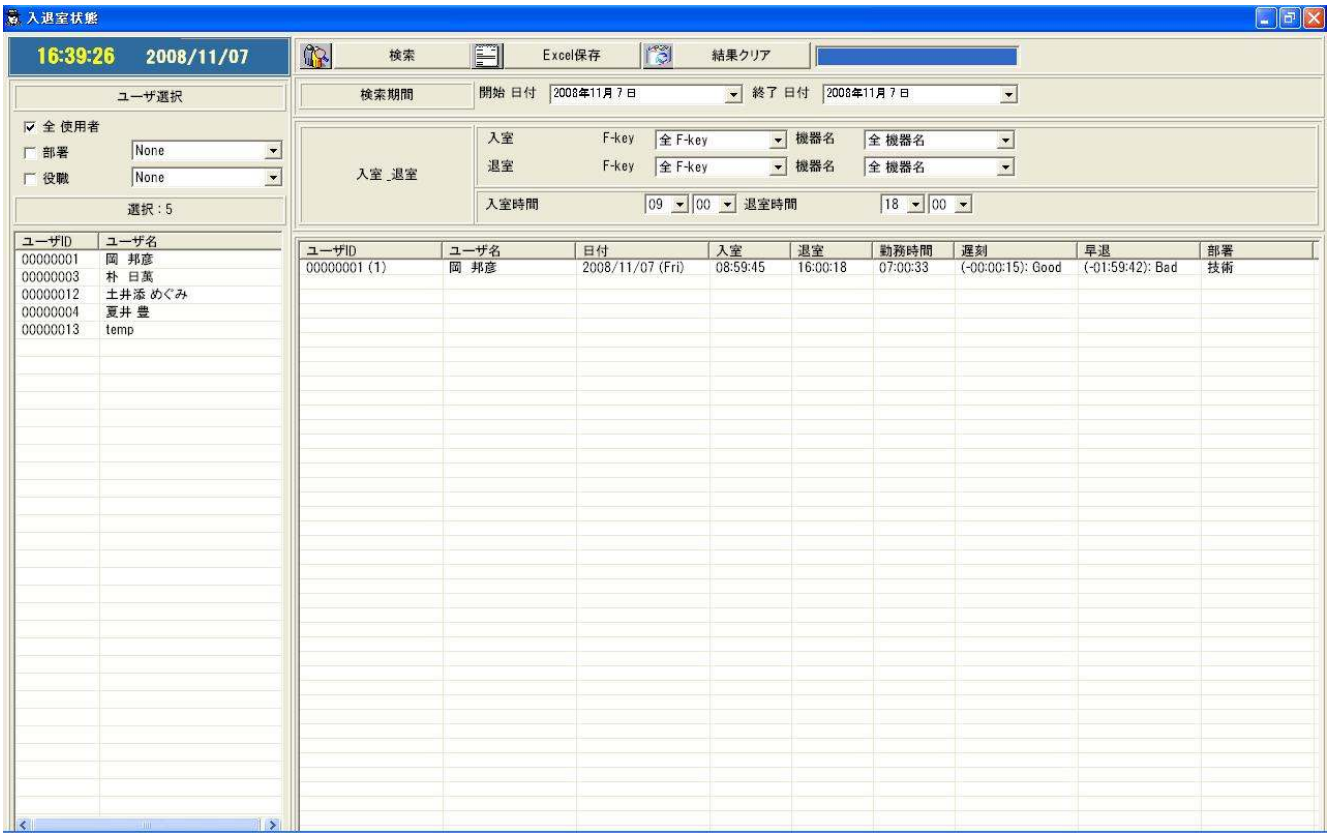
# 認証履歴（機器）




各認証機器内にある認証履歴データを参照します。
機器を選択して、“検索”ボタンにより認証データを表示します。

履歴データをＥｘｃｅｌデータで保存が行えます。

# 入退室状態表示




認証装置に登録してあるデータを確認します。
データの登録漏れがないか、不正データが登録されていないか確認できます。

## 使用方法

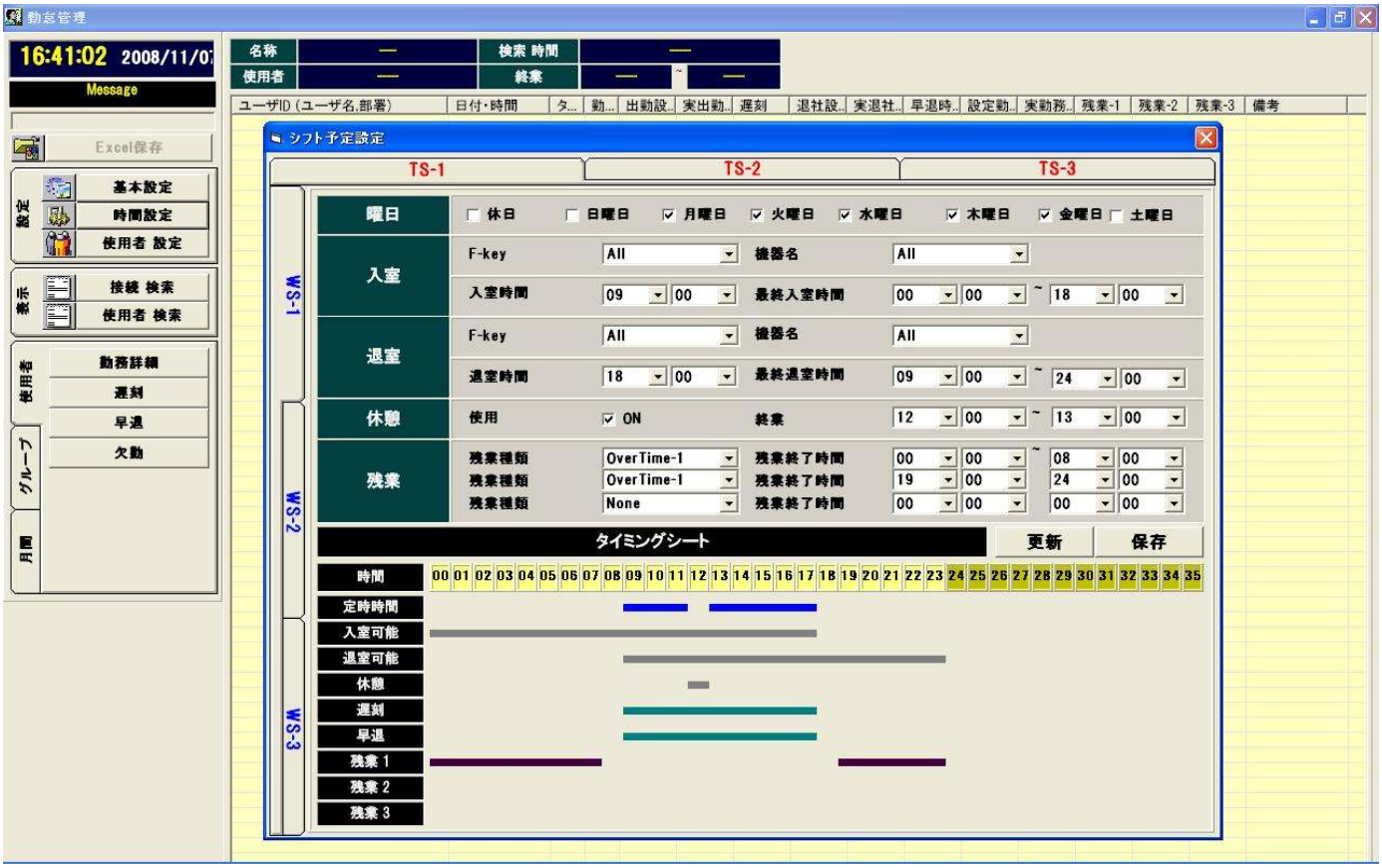
１、登録データ確認を行なう認証装置を選択します。

２、“使用者リスト受信”ボタンを押します。

３、認証装置よりデータを受信します。

データ受信後は“Ｓａｖｅ　Ｅｘｃｅｌ”ボタンを押してエクセルデータとして保存できます。

# 勤　怠　管　理




設定された勤務時間を元に、遅刻・早退・勤務時間を管理します。

１、時間設定により、基準定時時間を入力します。（３シフト設定できます）

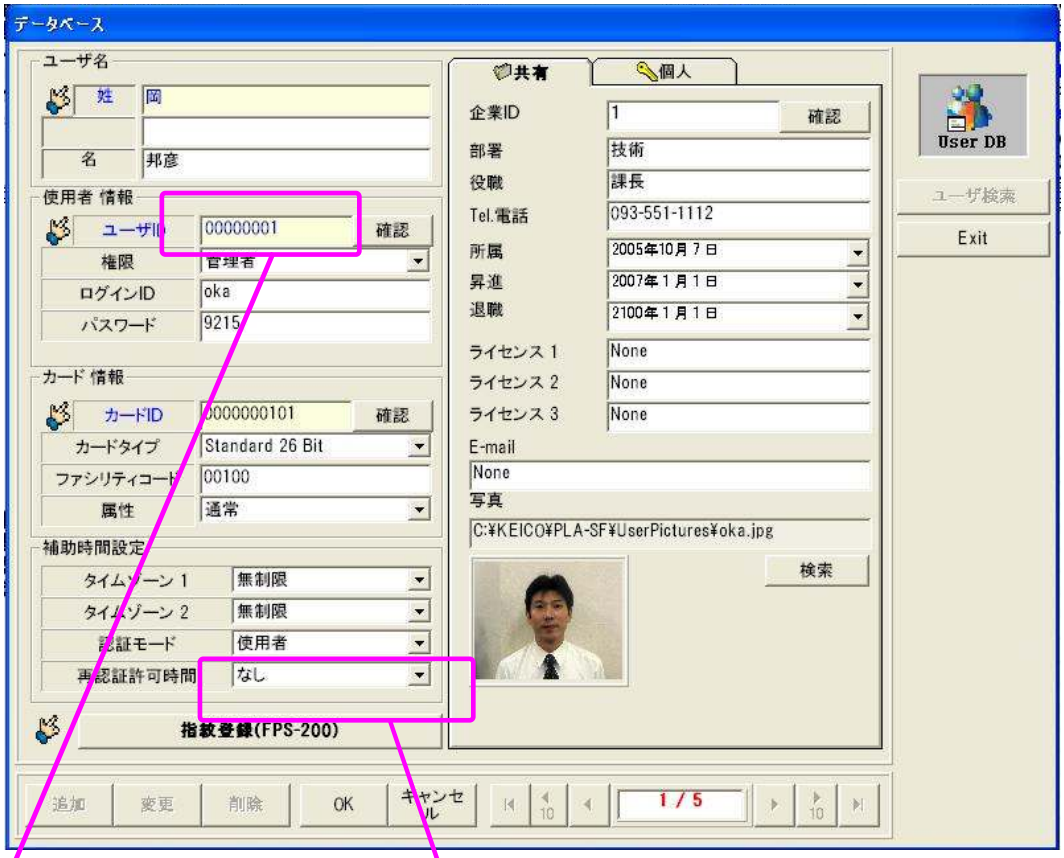
２、使用者設定により各シフトを設定します。

３、接続検索・使用者検索により、検索条件を絞り込みデータの検索を行います。

データ受信後は“Ｓａｖｅ　Ｅｘｃｅｌ”ボタンを押してエクセルデータとして保存できます。

# 非常用パスワード登録

非常時にパスワードを登録します。




登録者ＩＤにパスワードとして使用する番号を登録します。

例外的にパスワードを使用できるように、接続モードの設定をＩＤ使用解除にします。

## 使用方法

１、データベースを開きます。

２、登録者ＩＤにパスワードとして利用する番号を入力します。

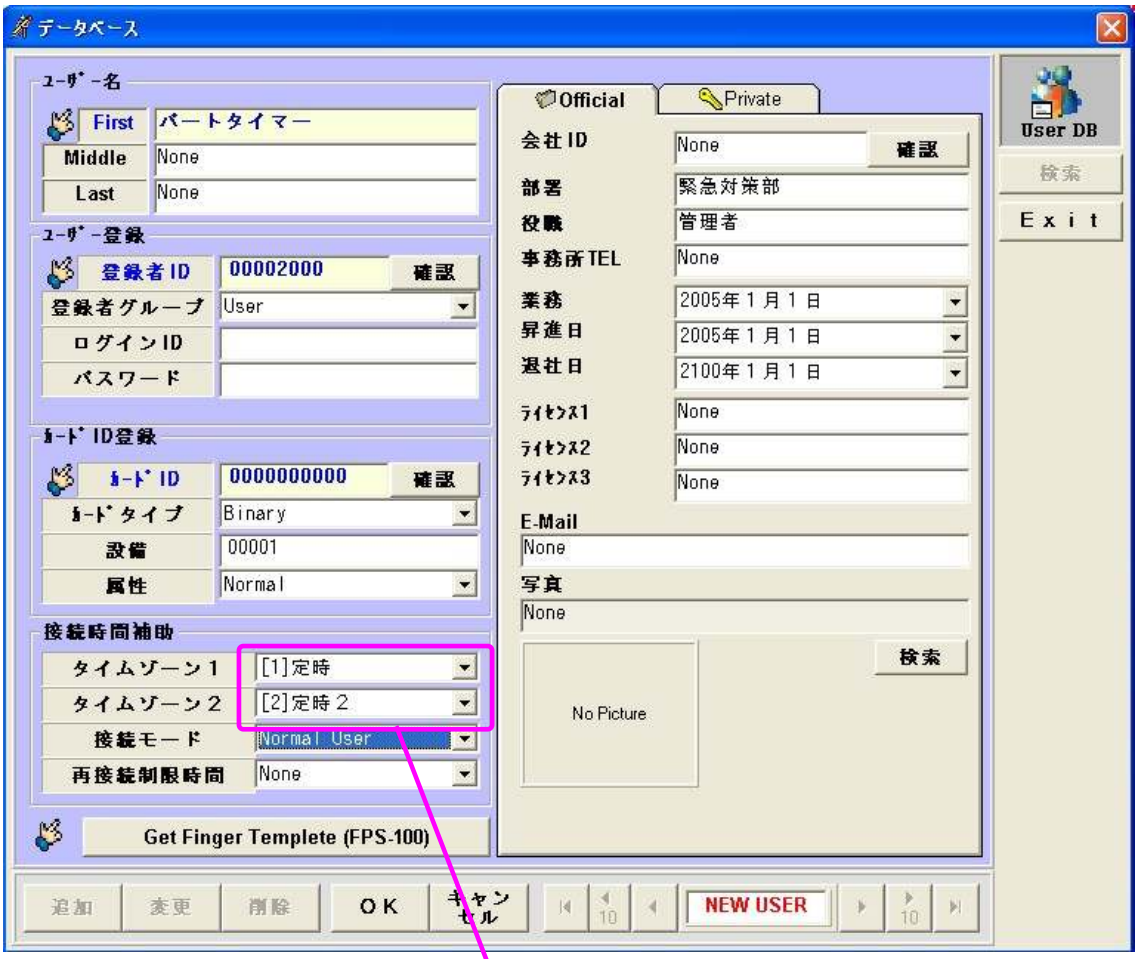
３、例外的にパスワードを有効にするために“接続モード”の設定を変更します。

４、名称は管理者が分かりやすい名称を登録してください。(使用した場合の履歴をみて分かり易いように)

５、データの転送手順に従い、登録したデータを指紋認証装置に転送します。

# 時間制限設定方法

ユーザーにより時間制限を設定します。




適用する入室制限時間を設定します。

## 使用方法

１、データベースを開きます。

２、タイムゾーンを設定します。

３、データの転送手順に従い、登録したデータを指紋認証装置に転送します。

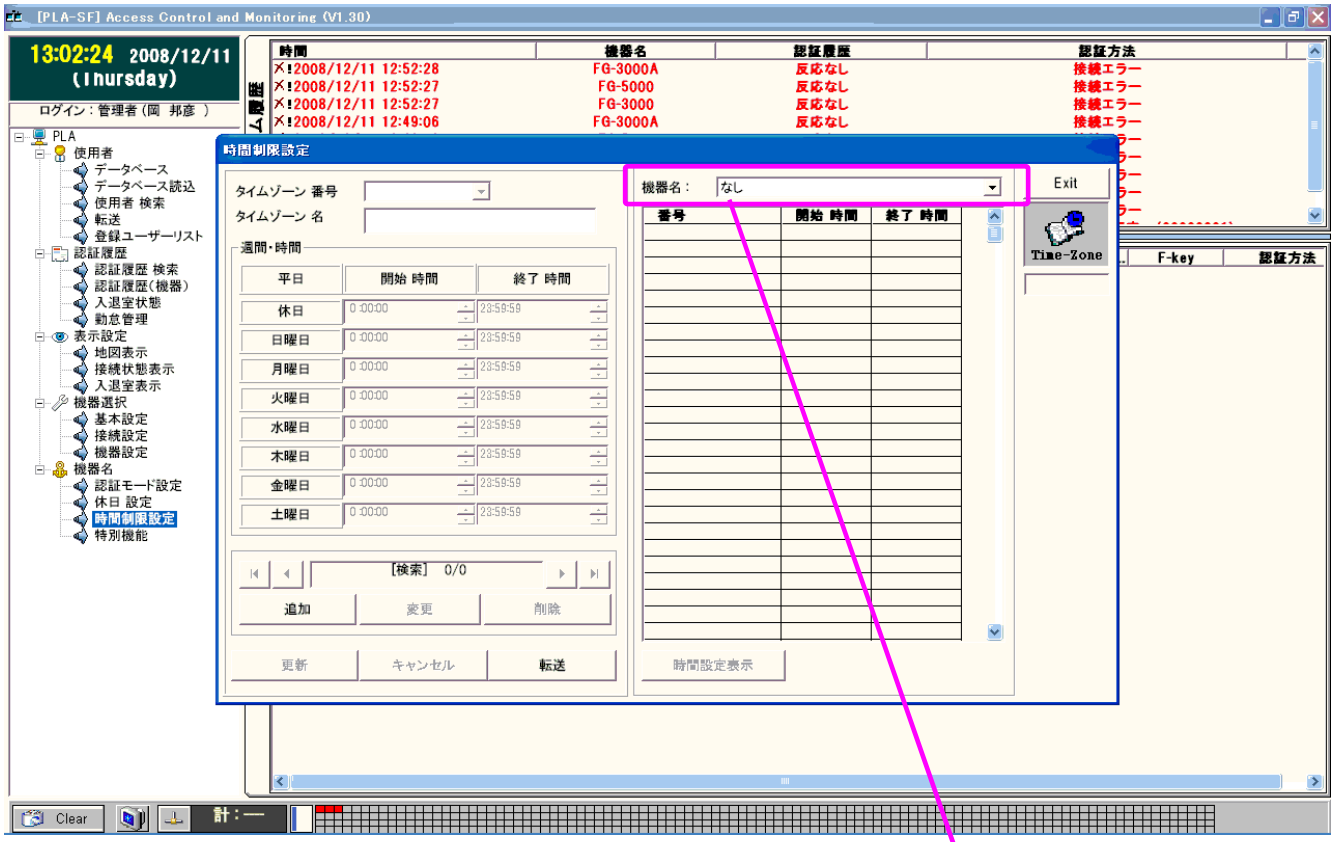
※タイムゾーンを２つ設定した場合は、どちらかの設定で認証可能時間であれば入室することができます。

例１：定時設定　が　７：００～１０：００

定時設定２が１２：００～１４：００の場合、認証可能時間は

７：００～１０：００　１２：００～１４：００となります。（ＯＲ制御）

# 時間制限設定方法




転送先の認証機器を選択します。

## 設定方法

1、タイムゾーン番号を決定します。

2、タイムゾーン名を入力します。

3、各曜日の入室可能時間を設定します。

4、“更新”ボタンを押してデータを確定します。

5、“転送”ボタンで設定した時間シフトを認証機器に転送します。